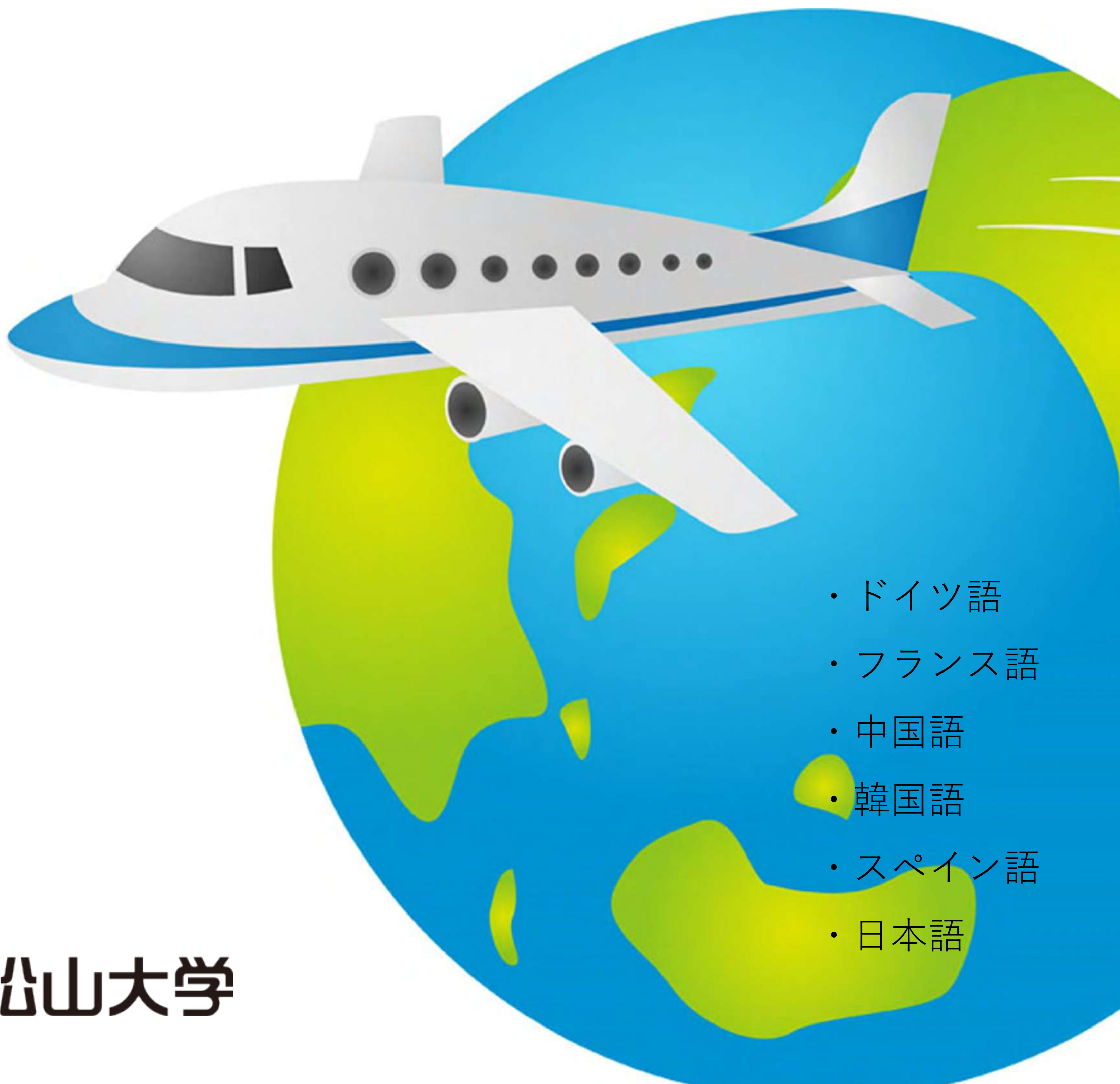


ようこそ

初習言語科目へ

2024



- ・ドイツ語
- ・フランス語
- ・中国語
- ・韓国語
- ・スペイン語
- ・日本語

◎ ドイツ語

■ ドイツ語基礎科目

福島での原発事故後、ドイツはいち早く脱原発政策を世界に発信しました。スイスも脱原発を宣言し、原発がそもそもなかったオーストリアを加え、ドイツ語圏諸国はいまや脱原発の推進役です。これは市民の高い環境意識の表れで、松山の姉妹都市フライブルクも、ドイツの環境首都として知られています。

ドイツ語圏はヨーロッパの中心部に位置します。ヒトラーのナチス・ドイツ、ベルリンの壁が象徴する冷戦など、暗い過去を正視しつつ、ドイツは現在EUを経済的・政治的に牽引しています。ドイツ語を母語とする人は、約1億人を数え、ヨーロッパ最多です。中世の雰囲気を残す街並み、アルプスの風土とウインター・スポーツ、モーツァルト、ベートーベンをはじめとするクラシック音楽、BMW、ベンツ、ポルシェといった高級車、サッカーのブンデスリーガなど、文化やスポーツの面でも、ドイツ語圏は魅力にあふれています。

ドイツ語はどんな言葉なのでしょう。ドイツ語学習には次のようなメリットがあります。

1. **発音がローマ字風で英語よりずっと簡単。**（Haus [ハウス]=家、Name [ナーメ]=名前）
2. 単語も文法も**英語に似ているので、わりととっつきやすい。**
（英：I study sociology. 独：Ich studiere Soziologie. 日：社会学を学んでいます。）
3. 英語と同じアルファベットを用いるので、**新しい文字を覚える必要がない。**

松山大学にはネイティブの先生がいますし、語学研修や留学助成制度も充実しています。ドイツ語能力を身につけるには恵まれた環境です。

ドイツ語やドイツ語圏の文化に、少しでも関心があるというひとには、**口頭クラス**がお勧めです。25人程度の少人数で、日本人とネイティブの担当教員が、進捗や試験はもちろん個々の学生のことも含め、情報を交換しながら授業をデザインしています。授業はパートナー学習やゲームを交え、「話す」と「聴く」を中心に楽しく進み、「読む」「書く」力を含めて総合的に学べます。（文法は一般クラスよりもゆるやか）。

一般クラスも担当教員は熱心なプロです。少しずつドイツ語に慣れながら基礎を固めて（基本的な文法は一通り終了します）、2年生になったら応用科目に進むのも良いでしょう。

こうした授業とは別にネイティブの先生によるチャットルームがあります（以下の写真はクリスマス・パーティー用のクッキー作りの様子）。



■ ドイツ語応用科目

1年次は英語と初習言語ひとつが選択必修ですが、2年次では前後期で2単位ずつ英語または初習言語を履修します。履修するうえで参考になるよう、4つのモデルに分けて紹介しましょう。

1. **留学準備モデル** ドイツ語スタッフが一押しに薦める、短期ドイツ語研修に参加するためのコースです。ネイティブ・スピーカーによるコミュニケーションⅠ・Ⅲと日本人教員によるコミュニケーションⅡ・Ⅳがあります。ドイツでの旅や日常生活に役立つ情報、語学教室や滞在先の学生寮で用いる表現が学べます。
2. **独検対策モデル** 「学生海外語学研修助成制度」の奨学金(30万円)を受けて語学研修をするため、ドイツ語検定試験合格を目指す授業です。4級対策のキャリアアップⅠと3級対策のキャリアアップⅡ・Ⅲの同時履修も可能です。
3. **ステップアップ・モデル** 1年次に学んだドイツ語を復習しながら、ドイツ語の読解力、表現力を向上させるコースで、ステップアップⅠとⅡがあります。英語だけではなく、学び始めたドイツ語をとりあえず続けよう、という人向きです。
4. **レベルアップ・モデル** ライティングとリーディングの2本立てで、基礎科目で学んだ知識にさらに磨きをかけるましよう。楽しくゆっくり進むのがモットーです。

■ 語学研修と留学

ドイツ語圏に行くチャンスはいろいろあります。

まずは夏休みの**短期ドイツ語研修**です。松山大学の姉妹校のフライブルク大学が研修先。費用は自費で30万円程度(大学からの補助もあり)、約4週間の研修で単位が認定されます。

「海外研修には行きたいんだけど、お金が……」という方はぜひ、**学生海外語学研修助成制度**にチャレンジしてください。

ドイツ語検定試験(独検) 4級以上に合格できれば、夏休みまたは春休みのドイツ語研修のため、30万円の奨学金に応募できます。独検合格を目指す「ドイツ語・キャリアアップ」を受講すれば、受験対策もばっちりです。

短期語学研修や助成制度による語学研修で、ドイツ語圏の魅力にはまった方は、フライブルク大学との**交換留学**を目指しましょう。フライブルク大学から奨学金をもらい、1年または半年間、フライブルク大学で学べます。ここまでやれば、ドイツ語はほとんどマスターできます。

その他、全国から学生と、日本・ドイツ語圏の教員が集まり、寝食をともにしながらドイツ語を学ぶ**合宿研修・インターユニセミナール西日本**など、ドイツ語を実地で学ぶ**機会**はたくさんあります。

ドイツ語をきっかけに、君も松山から世界に飛び出しませんか！

後輩のみなさん、こんにちは。私は卒業後に保育士資格を取り、現在はドイツの幼稚園で、かわいい子どもを相手に働いています。きっかけは大学の内外での授業。授業やインターユニでドイツに興味を持ち、在学中には1年間の休学までして、オーペアという子守の制度で、ドイツ人家庭にホームステイし、交換留学制度でフライブルクでも学生生活を。滞在中は周辺の国にも旅行しました。慣れない土地や食事、価値観の違いなどに、不安もありましたが、それを上回る貴重な経験ができました。

自分の視野や可能性を広げたい方、ドイツ語の扉を開いてみませんか？そして勇気を出して海外に。かけがえのない財産を手に入れることができます！

ラッペン真弓 人文学部社会学科2009年9月卒業



◎ フランス語

Bonjour！こんにちは！フランス語へようこそ！

大学ではフランス語を勉強して、芸術、文化、美食、ファッションの国フランスへ行ってみよう！その時には、授業で覚えたフランス語を使って、「アン・カフェ・シルヴブレ」（コーヒーを一杯ください）、「ウエラ・スタッション・ドウ・メトロ？」（地下鉄の駅はどこ？）というように、フランス人とのコミュニケーションを楽しみましょう。



ディジョンの旧市街

■ 言語文化基礎科目

1年次のスケジュール

4月	「とにかくフランス語が話したい！」	→	口頭クラスへ
	「やっぱり基本は文法から！」	→	通常クラスへ
11月	実用フランス語検定試験5級にチャレンジ		

1年次の目標

「フランス語は何となく難しそう…」と思っているあなた！そんなことはありません！フランス語には英語と形がよく似た単語がたくさんあります（英単語の約半分はフランス語起源なので）。例えば「テーブル」は、フランス語でも Table と綴ります。英語と同じですね。あとは、フランス語の発音と綴り字の規則を覚えれば大丈夫。フランス語の発音規則は英語よりもずっと例外が少ないので、一年のうちにマスターしてしましましょう（ちなみに Table はフランス語だと「ターブル」とローマ字風に発音）。ネイティブの発音に慣れたいという人には、口頭クラスがお勧めです。一年次からフ

ランス人の先生と勉強できます。優雅で音楽的なフランス語のリズムに触れながら、挨拶、自己紹介、自分の好き嫌い、趣味…と、いろいろフランス語で話してみましよう。フランス人はおしゃべりで自分の意見を述べるのが大好きです。フランス人にならって、間違いを恐れず大きな声でたくさんしゃべりましよう！会話も大切だけれども、まずは文法からという人には通常クラスがお勧めです。授業では、発音と文法を中心にフランス語の基礎を勉強しながら、基本的なフランス語を読んだり、聞いたりして理解力を高めます。1年の終わりには実用フランス語検定試験5級に合格できるくらいの実力が身についているはず。やる気のある人は、11月にチャレンジしてみましよう！また授業では、フランスの地理、文化、歴史について、ビデオを見ながら広く学ぶ時間を取っています。フランスのワインの産地、パリの街角のカフェ、ファッションブランド街、ゴッホやセザンヌやモネの描いた風景、ルーブル美術館や凱旋門やヴェルサイユ宮殿の歴史、ノートルダム大聖堂やシャルトル大聖堂などの建築様式などなど。これであなたもフランス通に！



フランス人の先生とクレープ作りに挑戦！



留学生との交流

*実用フランス語検定試験（仏検）は、松山大学か愛媛大学が会場となり、毎年6月と11月に実施されています。申し込みは松山大学生協でできます。

■ 言語文化応用科目

2年次のスケジュール

4月 まず自分の目標にあわせてクラスを選ぼう！

「フランス語の基礎を見直したい」

→ **ステップアップⅠ・Ⅱ**

「もっとフランス語で話したい」

→ **コミュニケーションⅠ・Ⅱ**

「フランス語を書いてみたい」

→ **ライティングⅠ・Ⅱ**

「フランス語で新聞や絵本を読みたい」

→ **リーディングⅠ・Ⅱ**

「実用フランス語検定試験を目指したい」

→ **キャリアアップⅠ・Ⅱ・Ⅲ**

「フランス語の世界をたっぷり味わいたい」

→ **フランス語3・4**

6月 実用フランス語検定試験4級にチャレンジ

*短期決戦型のあなたは、この時に3級も一挙に突破できます。

8~9月 デュジョン・ブルゴーニュ大学 CIEF での夏季語学研修

11月 実用フランス語検定試験3級にチャレンジ

3年次のスケジュール

春休みまたは夏休み

助成金をもらってフランスで語学研修をしよう

11月

実用フランス語検定試験準2級にチャレンジ

..... お勧めしたい履修のモデル

検定対策モデル

キャリアアップ と同時に **フランス語3・4**

キャリアアップ と同時に **コミュニケーション**

キャリアアップ と同時に **ライティング** あるいは **リーディング**

留学モデル

コミュニケーション と同時に **フランス語3・4**

コミュニケーション と同時に **キャリアアップ**

マイペースモデル

ステップアップ の後に **コミュニケーション**

ステップアップ の後に **ライティング** あるいは **リーディング**

1年間フランス語を勉強して、さらに力を伸ばしたい人は、2年次からの以下の応用科目を履修できます。フランス語の基礎を固めたい人にはゆっくり進む**ステップアップ**がお勧め。フランス語会話の楽しみに目覚めた人や、フランスへの留学を考えている人には、ネイティブの先生が担当する**コミュニケーション**がぴったりです。文章を書くのが好きな人は**ライティング**へどうぞ。メールなどの簡単な文章をフランス語で書けることを目標としています。**リーディング**は、まとまった長さの簡単なフランス語を読めるようになることを目指します。**キャリアアップ**は実用フランス語検定試験3・4級合格を目標にします。その他にも、週2コマでフ

ランス語をみっちり勉強する2年次配当の基礎科目の**フランス語3・4**もあります。なお、2年次からは、フランスのデュジョン・ブルゴーニュ大学付属語学センター（CIEF）への夏季語学研修に参加できます。夏休みの約3週間、美食と歴史的建築物で名高いデュジョンで、フランス語とフランス生活にどっぷりつかってしまおう。また、フランス語検定試験3級・4級合格者は学生海外語学研修助成制度への応募資格を手にすることができます。めでたくフランスへ行って研修を修了したら、さらに単位が認定されます。そして帰って来たら実用フランス語検定試験準2級にもチャレンジしましょう。合格のさいには「外国語検定Ⅱ」の単位取得、その上に奨励金も貰えます。

より詳しいことは4月からのフランス語の教室にて—— ア・ピヤント！じゃあ、また！



セーヌ河とエッフェル塔

◎中国語

欢迎来到汉语世界!

中国語の世界へようこそ!

中国語に挑戦すれば、世界の総人口中5分の1の話者と交流ができ、さらに、4000年の歴史をもつ中国語の世界を、自分のものにできます。また、古今東西が混じりあって大変貌を遂げつつある中国、それも自分の未来のフィールドにすることができるのです。

さあ、中国語を学んで、海を超えて中国へひとつ飛び! みんなで中国に関係する各種研修に参りてみましょう。

学中文，到中国!

■ 中国語基礎科目

1年次配当の基礎科目1・2では、一般クラスのほかに口頭クラスもあり、生きた中国語を楽しく学びます。週2回の授業は、基本的にネイティブの先生が担当します。ときには、先生が中国の世界遺産や文化を紹介してくれます。基礎科目には2年次配当の中国語3・4もありますよ。



“长城”(万里の長城)



授業の様子

みなさんは授業で中国独自の略式漢字(簡体字)とローマ字による発音記号(ピンイン)を学びます。「簡体字!?ピンイン!?何それ!?!」と思ったかもしれませんが、心配することはありません。みなさんは普段から漢字を使っているので、すぐに簡体字に慣れるでしょう。ピンインについても、新しい文字を学ぶわけではないので、何度も読めば慣れてきます。基礎科目を1年間しっかり学んで、新しい世界の扉を開きましょう!

■ 中国語応用科目

中国語を1年間勉強しても、まだ十分な手ごたえは感じられないかも知れません。もっと勉強したいと思ったら、次のような道があります。

目標その1: 検定試験

松山大学では中国語検定試験(中検)が年3回実施されています。まずはこの中検で実力をつけていきます。

《そのための授業》 ステップアップ・キャリアアップⅠ～Ⅲ

ステップアップは中検準4級を、キャリアアップⅠは中検4級を、キャリアアップⅡは中検3級を、キャリアアップⅢは中検2級を、それぞれ射程に入れた授業です。

目標その2：留学

松山大学では、夏休みの短期中国語研修講座(上海)があり、現地で生きた中国語に接して自信をつけるだけでなく、小旅行にも行きます。参加者には大学から一定額の助成金が支給されます。

それから、中検で4級以上をとっていると利用できる助成制度もあり、1人で好きなところへ語学研修に行くための助成金が大学から出ます。これを利用するには、早くから検定に挑戦し始めなければなりません。

助成制度以外にも中国の復旦大学・上海師範大学・上海財経大学・台湾の国立高雄大学、玄奘大学などへの派遣留学制度（1年間もしくは半年）もあります。（詳しくは国際センターにお問い合わせみましょう。）

《そのための授業》 コミュニケーションⅠ～Ⅳ

中国に関する様々なことを語ったり、中国へ旅行したり、現地で生活したりするのに必要な会話力を獲得するための授業です。もちろん先生はネイティブです。

《その他の授業》

リーディングⅠ・Ⅱ

中国語の読解力をつけたい人はこの授業をとって、どんどん読み進めましょう。たくさん読むと、語彙力も飛躍的に上昇します。

ライティングⅠ・Ⅱ

簡単な中国語の文や短い手紙が書けるようになります。自分で書くことによって、自信がどんどんついていきます。

初習言語文化研究（中国語）

「中国語1・2」で学んだ語学の知識と関連付けながら、中国の文化を深く理解していくための授業です。中国の世界遺産や歴史、文学、料理、映画、少数民族、若者文化など、多岐にわたるトピックを用意しています。



龍門石窟



故宮

また、授業とは別に、自由な雰囲気の中でネイティブとの会話を楽しむ「チャットルーム」も開かれていますので、興味があれば積極的に参加してみてください。

*以下のウェブサイト（検定・留学関係）も、ぜひのぞいてみてください。

中国語検定試験（中検）

<http://www.chuken.gr.jp/>

HSK（漢語水平考試）

<http://www.hskj.jp/>

中国語コミュニケーション能力検定（TECC）

<http://www.tecc.jp.com/>

復旦大学

<http://www.fudan.edu.cn/>

上海財経大学

<http://www.shufe.edu.cn/>

上海師範大学／上海師範大学対外漢語学院

<http://www.shnu.edu.cn/> / <http://iccs.shnu.edu.cn/>



黄浦江と東方明珠塔

◎ 韓国語



これからのグローバル（Global+Local）時代を生きる皆さんにぜひ隣の国の言葉を学んでみることをお勧めします。韓国語を受講するようになった皆さんは、大学の4年間を通して韓国語の文字である「ハングル」を読むところから始まり、挨拶や簡単な決まり文句を話し、徐々に単語と文の意味が分かるようになるでしょう。さらには、言葉を通して隣の国の文化を理解し、韓国語を話す人々に自分の生まれ育った社会や文化について語りたいという気持ちになってくれることを願っています。

ここで、韓国語は全く分からないというあなたのためにいくつかのTipをお教えしましょう。

***韓国語の文字**である「**ハングル**」は、10個の基本母音字と14個の基本子音字からなっていて、英語のアルファベットの26個よりも2個少ないのです。つまり、**24個の文字さえ覚えてしまえば**、授業の初日から韓国語が読めるようになります。

*日本語と韓国語は、**語順と文法がよく似ている**だけではなく**語彙面でも共通点**があります。一例として、日本語の「都市」「図書館」「運動」は、それぞれ韓国語で[トシ][トソグァン][ウンドン]と発音されます。これは、日本語と韓国語が共に漢字圏に属しているため、**漢字をベースにした言葉の発音が非常に似ている**からです。

この他にもまだあなたの知らない韓国語と日本語のふか〜い関わりを、今度はぜひ授業の中で体験してみてください。

授業案内

◇ 基礎科目「韓国語1」「韓国語2」(1年次) / 「韓国語3」「韓国語4」(2年次以降)

前期には「韓国語1」を学びます。「韓国語1」では、韓国語の文字を読む練習から始め、簡単な決まり文句や挨拶表現を勉強し、基本語彙もしっかり学びます。「韓国語1」は、「ハングル能力検定試験5級」を学習到達目標としています。後期の「韓国語2」では、語学力をさらにアップするとともに、幅広い韓国文化に接する機会を多く設けています。後期が終わる頃にはあなたもちょっとした韓国通になっているかもしれませんね。「韓国語2」は、「韓国語能力試験 TOPIK I (1級)」を学習到達目標としています。基礎科目韓国語1・2は、**口頭クラスと一般クラス**で分かれています。**口頭クラス**の担当者は韓国語の**ネイティブの先生**で、**30人程度の人数構成**となります。

基礎をよりしっかり固めたいという方には、基礎科目「韓国語3」「韓国語4」をお勧めします。1年次から2年次にかけて基礎科目韓国語1～4を学ぶことで、「韓国語能力試験 TOPIK I (2級)」の学習能力を確実に身につけることができます。

在学中により集中して韓国語を学び、より早く高いレベルにまで韓国語能力を伸ばしたい、または一度は短期・長期で韓国留学を目指したい人には、**口頭クラスがお勧め**です。すでに「第1希望の言語は韓国語！」と決めている方なら、なおさら履修希望の選択順において「韓国語の口頭クラス」を上位に選んでおくとうれしいでしょう。



◇ 応用科目 (2年次以降)

基礎科目の「韓国語1・2」を修了した方が受講できます。

応用科目としては、言語の4技能の習得に適した「韓国語コミュニケーションⅠ～Ⅳ」「韓国語リーディングⅠ・Ⅱ」「韓国語ライティングⅠ・Ⅱ」「韓国語ステップアップ」「韓国語キャリアアップⅠ・Ⅱ」があります。2年次では、自分が学びたい授業科目が自由に選択できます。選択科目の特徴や学習レベルについては、1年生後期の授業で、別途掲示案内等が行われます。

◇ 言語文化講義科目 (2年次以降)

基礎科目の「韓国語1」を修了した人なら誰でも受講できます。

「初習言語文化研究(韓国語)」は、韓国語の基礎力を身につけた上、さらに文化理解に焦点を当てた講義科目となります。「韓国語1」を修了した人なら誰でも受講できますので2年次以降の**前期または後期の時間割の都合に応じて受講**してみてください。きっと今まであなたが知らなかった新しい韓国文化に出会えるはずです。

授業外活動

正規の授業科目の他にも韓国語の先生と楽しくおしゃべりしながら学べる「**チャットルーム**」の時間が設けられています。また、検定試験も充実していて、それぞれ「**韓国語能力試験**」と「**ハングル能力検定試験**」が年2回以上実施されます。その他、夏休みを利用した**短期韓国語研修講座**や**海外語学研修助成制度(春季・夏季)**、協定校で学ぶ6か月以上の**派遣留学制度**など、様々な留学プログラムで皆さんの語学力アップをサポートしています。

ようこそ、スペイン語の世界へ



**¡Hola amigos! Bienvenidos a las
clases de español!**



スペイン語は世界で4億人に話されていて、言語使用者数では世界第2位の言語です。特に貿易関係では重要性がますます増しており、日本の貿易においても例外ではありません。スペイン語はスペイン以外でもメキシコや南アメリカのほとんどの国で話され、またアメリカ合衆国でもスペイン語を話す人々が増え続けており、アメリカを考える上では無視できない言語となっています。スペイン語圏の国々においては、習慣、食べ物、地勢、産業などがそれぞれに異なっていますが、みな興味深い国々です。



音楽やダンスでは、フラメンコ(flamenco)、タンゴ(tango)、サルサ(salsa)、クンビア(cumbia)、ボレロ(bolero)、チャチャチャ(chachacha)などいろいろなスタイルがあります。



食べ物も様々で、タコス(tacos)、パエージャ(paella)、セビーチェ(ceviche)、アサード(asado)、アヒージョ (ajillo) など郷土色豊かです。



各国に共通しているのは、家庭や友達の大切さ、宗教、スポーツ特にサッカーへの情熱です。ワールドカップ優勝のスペイン、アルゼンチン、ウルグアイ、オリンピック金メダルのメキシコ、などスペイン語圏で盛んなスポーツといえばサッカーです。



スペイン語の発音は日本語に似ていて簡単です。読み方もほとんどローマ字読みです。スペイン語はラテン系の言語であり、スペイン語をマスターすれば、イタリア語やポルトガル語なども習得しやすくなります。

基礎科目1・2ではコミュニケーション能力の基礎固めをします。楽しい授業をします。基礎科目1では、スペイン協会のスペイン語検定の6級のレベルに達します。希望者は1年の秋には6級を受験します。基礎科目2では、さらに語学力を確実なものとし、スペイン語検定の5級の内容も習い始めます。



2年目からのクラスは次のとおりです。

コミュニケーションIIおよびコミュニケーションIIIは優しい小説の読書を読んだり会話したりすることを目的としています。ステップアップとコミュニケーションIのクラスはスペイン語の文法や会話も学びます。さらに、料理やビデオ鑑賞なども行います。



関心がある人は、検定対策クラス（キャリアアップIとII）でそれ以上のレベルの学習もできます。この検定は春と秋に実施されます。毎年2人の学生がスペイン語圏の国に留学することができます。

学生はすべての主題を選択することも、希望する主題のみを選択することもできます。それぞれのトピックと目的は異なります。



◎ 日本語

日本語には、基礎科目と応用科目があります。基礎科目の日本語 1・2・3・4 と応用科目の応用日本語 I は、外国人留学生の必修科目です。基礎科目では、留学生が入学して即必要となる大学で学ぶための基本的な知識とスキルを身につけます。応用科目では目的に応じた日本語能力のアップを目指します。日本語の科目は大学の専門科目を学ぶ力を支えるための科目ですから、意欲的かつ計画的に取ってください。

■ 日本語基礎科目について

日本語 1 レポートの書き方を通して、大学生としての学び方を身につけます。

日本語 2 大学生として必要な日本事情を学びます。

日本語 3 読むトレーニングを通して、大学で必要となる読解力を養成します。

日本語 4 レポートの構成要素と表現を身につけます。

■ 日本語応用科目について

日本語応用科目には、応用日本語 I・II・III・IV と言語文化特殊講義 I・II・III・IV があります。

■ 応用日本語 I・II・III・IV では個別のスキルをアップ！！

応用日本語 I では、読解と作文の活動を通して、日本語力と共に、物事を整理・分析し、筋道を立てて考える力も養成します。

応用日本語 II では、自分の意見を人に伝え、また、人の意見を聞くことによって日本語のコミュニケーション能力を高めます。

応用日本語 III では、ビジネス日本語として、ビジネス場面で使われることばや表現を中心に学びます。ビジネス日本語テストの対策にもなります。

応用日本語 IV では、大学生としてだけでなく社会に出ても役立つよう、敬語をはじめとする待遇表現を中心に学びます。

■ 言語文化特殊講義 I・II (日本語総合能力養成講座)、言語文化特殊講義 III・IV (日本語総合能力養成講座) では総合的な運用能力をアップ！！

言語文化特殊講義 I・II では、総合的な日本語能力をアップさせるため、4 技能をバランスよく学ぶことができます。言語文化特殊講義 III・IV では、より高くバランスのよい 4 技能のレベルアップにより、高度な日本語運用能力を養成します。日本語能力試験最高レベルの N 1 合格者にも N 1 合格を目指す人にも役に立つ講座です。

※ 日本語を選択できるのは外国人留学生のみとなりますので、ご注意ください。



GO ABROAD !
STUDY ABROAD !